

置基準・中医薬就業人員基準を作成。中医薬版のTOEFLを目指し、世界中医薬学会と中医薬国際試験を改革し、中医薬関係の各種試験を、世界中医薬学会連合会と世界鍼灸学会連合会（World Federation of Acupuncture-Moxibustion Societies: WFAS）が行うこととした。内容も5部門21ランク（医師5ランク、薬剤師5ランク、看護師4ランク、教師4ランク、技術員（按摩・美容・足治療など）3ランク）とした。図3は、WFCMS事務局で外国語訳を進めているとされる中医学関連書籍である。

2004年、呉儀副首相が中医薬政策について講話し、中医（中国伝統医学）を廃して中薬（漢方薬）だけが残し、それが西洋医薬に取り入れられる傾向への警鐘として、「これでは西洋医学の後塵を拝する。日本の轍を踏むな！」と発言。

2005年、中国中医科学院は3大プロジェクトとして、岐黄プロジェクト（中医薬理論の伝承と革新）、仲景プロジェクト（予防治療能力向上：悪性腫瘍、脳疾患、心・血管疾患など）、時珍プロジェクト（基準化・治療効果の測定・診療技術や製薬技術の向上）を発表。973計画（「中国国家重点基礎計画発展計画」）に中医薬研究を組み入れた。中医薬事業発展「第11次



図3. 外国語化が進められる中医学関連書籍

5カ年計画」プランでは、2010年までに中医薬サービスネットワークが全国を網羅し、基準化・国際化・情報化を推進する予定とした。

2006年には中医薬基準化発展プラン（2006～2010年）のなかで、2010年までに500の中医薬基準を確定し、中国が中心になって3～5の中医薬国際基準と20以上の国際基準の承認を目指すとした。

WFCMS国際培訓規画綱要（2008～2017年）では、各国の教育制度に連動した国際研修制度、資格・試験制度の制定を主な施策として効果的な国際研修体制を作り上げるために、(1) 学校の運営目標・運営条件・育成モデル・専門学科の設置・カリキュラム・教育大綱・教育計画・教材・講師育成など、中医薬の特徴に合った教育体系を研究し構築する。(2) 医師のレベルに合わせて5ランクに分け、それぞれのカリキュラムを策定することを掲げた。

また、2008年の国際中医医師資格（水平）考試弁法実施細則では、「助理医師」「（執業）医師」「主治医師」「高級（副主任）医師」「主任医師」の5ランクについてそれぞれ受験資格・試験内容を制定した。同年、労働・社会保障部が『中医薬業特殊職業技能鑑定実施弁法（試行）』を発表し、中医薬関連職業資格認定への動きが起こった。中薬販売員・中薬調剤員・中薬材種植員・中薬炮製と配製員・中薬剤生産管理員・中薬液体製剤工・中薬個体制剤工・中薬検験工・中医刮痧師の9つの職業資格が新たに中国の国家資格として認められた。

また同年、WHOは第1回となる世界伝統医学会議（World Congress on Traditional Medicine）を北京で開催し、中国はWHOとのつながりの強さを強調した（図4）。

2009年の主要な施策（図5）

「中医薬基準データバンク・知識バンク建設の鍵となる技術研究」中間報告会で中医薬基準



図4. 第1会世界伝統医学会議

データバンクと、一部の中医薬基準知識バンクが完成したとされる。中医薬基準データバンクはすでに世界中のユーザー向けに検索・編集サービスの提供を開始しており、中医薬標準化応用プラットフォームはISO/TC249 (TCM〈仮称〉専門委員会)へ続く技術的支柱となるとした。

11月の第3回中国中医薬発展大会では、中医学の「継承と革新・更なる改革・科学的発展」のために「医療」「保健」「科学研究」「教育」「産業」「文化」の「六位一体」を目指すとした。

中国の保健産業は、1980年代に勃興し、1995年の「食品衛生法」以降、保健食品方面の法律が続々と整備される。2008年までに、認可保健食品9,613品目、生産企業1,600余社、年間生産高1,000億元に及ぶが、煎じ薬産業の立ち遅れによる、生薬・成薬産業とのギャップが顕在化している。中医学の標準化が中医薬の国際化を後押しするとして、国際化・基準化、保健、産業の観点から次のような報告がなされた。

(1) 国際化・基準化

1. 標準化の利点

- a. 国際交流と秩序ある中医薬の普及
- b. 古典的・低次元という偏見を払拭し、各国での信頼度向上
- c. 中国の国際競争力を高め、国際化の過程で主導権を取れる

2. 国際標準化の方針

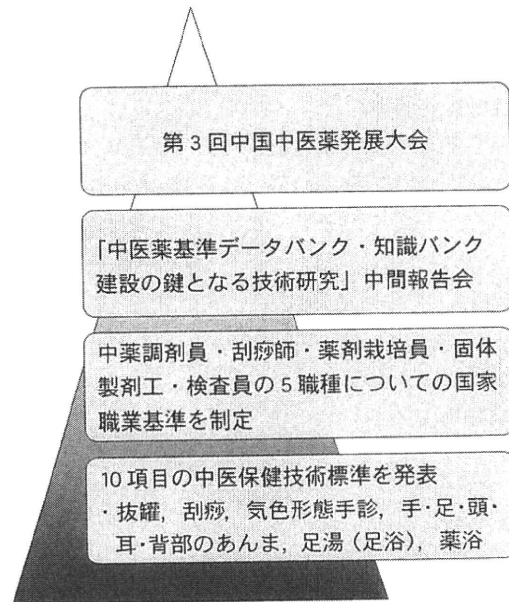


図5. 2009年の主な中医学関連の施策

- a. 国際的業界組織の設立
- b. 同組織により、国際業界標準をつくる
- c. 数年間の実施経験をもって、ISOでの認可を目標とする

3. WFCMSの役割

- a. 国際標準組織と同じ仕組みをもつ(標準部、標準化建設委員会(15名以上のPメンバー)、技術委員会、基準審査委員会など)
- b. 国際組織標準を制定し、普及に努め、ISO認可を得る
- c. 国務院の認可を得た、中国に本部を置く組織として、中国の研究成果・管理経験、成熟した標準を国際標準化し、これらをもって中医薬の国際発展を目指す
- d. WFCMSが制定した基準は、ISO中国駐在代表を通じてISOとつながる

4. すでに完成している基準

- a. 中医医療機関設置基準・医療品質管理規範
- b. 教育機関設置基準・教育品質管理規範
- c. 科学研究品質管理規範
- d. 従事者に関する国際組織標準体系(国際的試験実施中)

- e. 300種の生薬国際組織標準
- f. 6500項目の術語標準とその英訳(発表済)

5. 中薬の対外普及宣伝

世界4,000万人の中国語学習者リソースを生かす。また、世界225カ所の「孔子学院」を中薬文化宣伝の窓口として位置付ける。

(2) 保健：保健産業の将来展望

1. 伝統的養生論を基礎とした保健産業製品の、シェアが拡大する
2. 企業主体・市場向きの産学連合体系づくりが進む
3. 製品の機能分析がより明断となり、市場の細分化が進む
4. 保健食品に続き、保健用品と保健サービス業が急速に発展する
5. 「健康器具管理方法」など保健産業関連法規の制定が必要

(3) 産業

1. 中薬産業発展と関連政策

- a. 中薬事業の発展に産業化は不可欠、法律・政策によるサポートも必要
- b. 政府の直接指導あるいはNGOなど社会団体活動の後押しが期待される

2. 中薬産業発展への10の提案

- a. 生産企業の大規模化・専門化(生産品種を減らし、個々の生産量を拡大する)
- b. 中薬販売のチェーン展開を行う

以上、概観したように、中国の報道によれば、中国は政府主導で着々と中医学発展の施策を行ってきている。今回は、WHOにおける伝統医学の標準作り、ISOにおける伝統医学の国際標準化の抱える問題点と課題、最新の状況などについて述べる。(つづく)

日本と中国の多彩な中医情報の発信基地! ◇<http://www.chuui.co.jp>


東洋学術出版社ホームページをご覧ください

1 中国の最新の中医情報を紹介しています。
「中国最新情報」のコーナーでは、中国における行政の動き、医療・生薬・針灸・養生など幅広い分野の多彩な情報を随時発信しています。

2 当社書籍を「立ち読み」できます。
各書籍の主なページ(10頁程度)をPDFで紹介しています。ほかに、目次・まえがき・あとがき・各紙誌の書評・読者評・編集者のコメントなど、書籍に関する情報を詳しく紹介しています。

3 セミナー・講演会の情報を発信。
日本内外で行われるセミナー・講演会・研修旅行などの開催情報をお知らせするとともに、開催後の取材記事も掲載しています。

4 『中医臨床』のバックナンバーが検索できます。
『中医臨床』の100冊以上のバックナンバーの目次情報がデータベース化されているので、キーワードを入力して関連事項をすぐに検索できます。「あの特集は?」「あの症例は?」「あの先生は?」など、知りたいときに探せます。



東洋学術出版社 ◇ <http://www.chuui.co.jp>

平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

「ISO/TC249 に資するための伝統医学関連の用語・疾病分類・

デバイス・安全性確保などの基盤整備研究」

分担研究報告書

鍼灸用語・経穴の整備

— 腧穴（Acupuncture point）の categorial structure 作成の試み —

分担研究者 東郷 俊宏 東京有明医療大学保健医療学部 准教授

要旨 近年 WHO や ISO 等の国際機関で、鍼灸領域の用語や情報に関する標準策定の動きが活発化しており、鍼灸治療で用いる治療点（腧穴：Acupuncture point）についてもその位置情報の標準化が達成されたが、なお、臨床や研究の現場で用いる治療点の表現という観点からは不十分といえる。そこで我々は ISO/TC215 において、腧穴の information model とこれに基づく categorial structure の策定に関する提案を行ったのでその概要を紹介する。

研究協力者

廣瀬康行 琉球大学附属病院医療情報部
教授

A. 目的

近年 WHO や ISO 等の国際機関で、鍼灸領域の用語や情報に関する標準策定の動きが活発化している。これは同領域の臨床研究が国際的に行われる中で、その介入情報等を machine readable な言語で記述し、データ交換を正確、かつ効率的に行うことが要請されていることがひとつの要因と考えられる。まず、伝統医学の用語については、2005 年より WHO 西太平洋事務局（WPRO: Western Pacific Regional Office）の伝統医学諮問官であった Dr. Choi Seung-hoon が中心となり、日中韓の三カ国の代表者を集めた非公式協議が 3 度にわたり開催され、*International Standard for*

Traditional Medicine in the Western Pacific

Region（2007 年）として結実した。また、鍼灸治療に用いる経穴（ツボ）の位置情報に関しては、12 の正経および奇経 2 経に所属する 361 穴について標準化が行われ、その成果は *WHO Standard Acupuncture Point Locations in the Western Pacific Region*（2008 年）として出版された。さらに国際機関によるものではないが、臨床研究における鍼治療の介入に関する標準的な報告項目として、Exeter 大学の Hugh MacPherson らのグループが 2001 年に発表した *Standards for Reporting Intervention in Clinical Trials of Acupuncture*（STRICTA。2010 年改訂）が広く使われており、その checklist においても、報告項目の一つとして *Names (or location if no standard name) of points* が挙げられている。

しかしながら、実際の臨床（研究）では、文献上に記載のある腧穴のみが効果を現して

いるわけではなく、既存の標準は必ずしも鍼介入における刺激ポイントの表現に際して十分な情報としての「枠組み」を提供しているとはいえないのが現状である。

こうした状況に鑑み、我々は、2010年10月に Rotterdam で開催された Joint ISO/TC215 and CEN/TC251 Working Groups meetings にて、鍼治療で用いる治療点（腧穴：Acupuncture point）の categorial structure 策定を目標とする新規提案（Health informatics: Categorial structures for representation of acupuncture Part 1: Acupuncture points）を行った。

B. 研究方法

腧穴の表現に必要な用語を WHO が発刊した *WHO International Standard Terminologies On Traditional Medicine In The Western Pacific Region* (2007)、*WHO Standard Acupuncture Point Locations In the Western Pacific Region* (2008) より抽出し、腧穴に関する情報について、UML (Unified Modelling Language) 図を用いて information model の作成を行い、次いでこの information model に基づいて categorial structure を作成し、その問題点について検討した。なお作業に当たって、UML 図および categorial structure 図の作成は研究協力者の廣瀬が担当した。

C. 結果

C-1 腧穴の categorial structure

腧穴 (Acupuncture point) は、既存の文献上に名称や位置、所属経脈、主治、穴性について記載が存在するものと、文献上にかかる記載が見られず、診断や治療過程ではじめて見

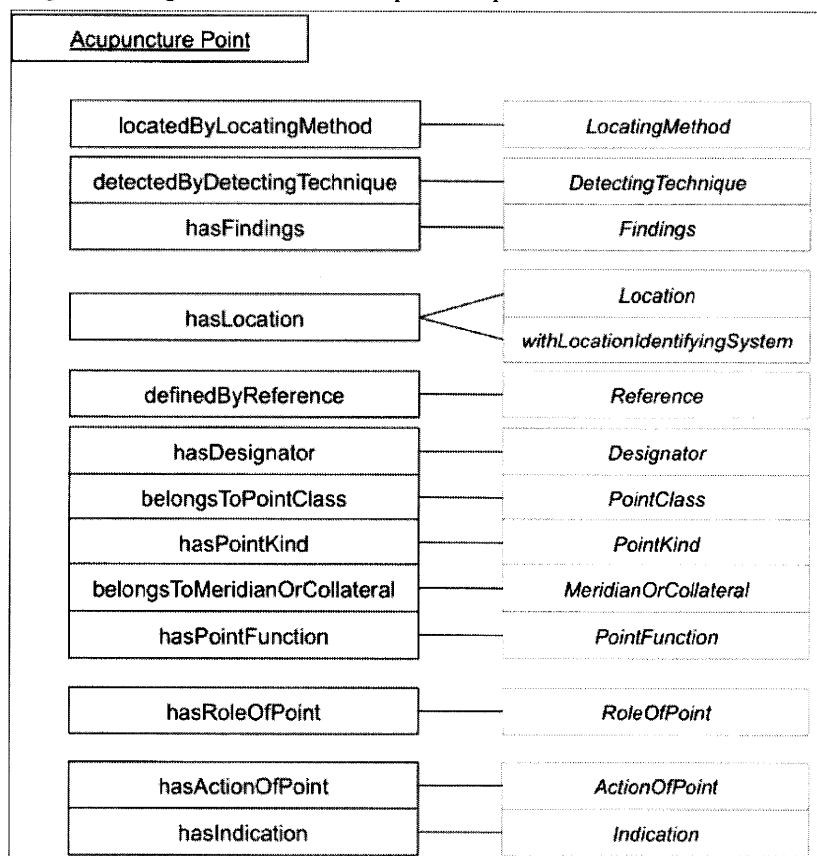
いだされるものがあるため、まず「Named points (名称を有する腧穴)」および固有の名称や位置の定義を有さない「Ashi point (阿是穴)」に分類され、前者はさらにいずれかの経脈に帰属する「Meridian point (経穴)」、経脈上にはない「Extra point (奇穴)」および Microsystems acupuncture で用いられる

「Microsystem point (耳穴・足穴等)」に分類された。全ての腧穴は位置情報を有するので「Point location」のクラスを設けた。また「Named point」は呼称を持つので、「Point name」クラスを設けた。また阿是穴は、視診や触診など、何らかの検知方法によって見いだされること、また位置情報があらかじめ定義されている経穴においても、実際の臨床時に位置を定める際にはかかる検知方法が補助的に用いられる場合があることから

「Detecting manner」のクラスを設けた。経穴については、経脈、絡脈上で各種の機能や役割を有する場合があるので、「Meridian or collateral」のクラスを設定した。また文献上に記載のある腧穴は、主治に関する情報を持つので、「Indication」のクラスを設定した。さらに Named points については、文献により腧穴の名称や位置、主治等の情報が異なる場合が存在するため、「Reference (典拠)」のクラスを設定した。

上述の如くクラスを information model 上で設定した後に category と semantic relation を抽出し categorial structure を作成した (Figure 1)。また、各カテゴリーに対応する value とその具体例を示したものが表 1 である。

Figure 1 Categorical structure of acupuncture point



[廣瀬康行、東郷俊宏 2010年10月作成]

表1 categorical structure における各 category と value および具体例の対応表

Characterising Category	Applicable value	Example
LocatingMethod	Locating methods	byReference, byDetection
DetectingTechnique	Detecting techniques or method	palpation, electric conductivity
Finding	Pathological findings	trigger point, swelling
Location	Acupuncture points	(value)
withLocationIdentifyingSystem	Location identifying systems	byAnatomicalLandmarks, by Bone standard
Reference	References	(value; author, editor, publication year)

Designator	Designators	(value; name and/or code)
PointClass	Point classes	Ashi, Meridian, Extra
PointKind	Microsystem	scalp, ear, foot, nose
MeridianOrCollateral	Meridian or Collateral	Main, Extra, Divergance
PointFunction	Functions	source, alarm, transport
RoleOfPoint	Roles	eight meeting point, crossing point
ActionOfPoint	Actions	(value: soothe the liver and regulate qi)
Indication	pattern/syndrome or disease	(value : kidney yin deficiency)

[廣瀬康行 2010年10月作成]

C-2 TC215 Rotterdam 会議での新規提案

以上の内容の新規提案について、2010年10月に Rotterdam で開催された Joint ISO/TC215 and CEN/TC251 Working Groups meetings では、Traditional Medicine Task Force の会議（10月11日実施）にてまず概要を発表し、翌12日に行われた Working Group Three の全体会議においても発表を行った（発表資料については [資料1] 参照）。なお、この Working Group Three の全体会議において、Form 4 の見直しながなされ、本提案のタイトルは Categorical structure of acupuncture point in traditional medicine Part1: Traditional East Asian Medicine から Health informatics: Categorical structures for representation of acupuncture Part 1: Acupuncture points へと変更された。

C-3 Rotterdam 会議の議決

上記を受けて会議最終日（10月13日）に行われた TC215 全体会議においては、議決文（resolution）の中で、「TC215 は、Technical specification をターゲットとする新規提案

Health informatics: Categorical structures for representation of acupuncture Part 1: Acupuncture points につき、TC215 secretariat から回覧投票に付すとする WG3 による勧告に賛同する。新規提案の Form 4 および document は、2010年10月31日までに TC secretariat に送られ、2010年11月15日までに ISO/TC215 の投票 Portal において提示される」との文章が明記された（Resolution 原文については [資料2]）。

C-4 Form 4、Outline document の送付

Rotterdam 会議における上記の議決を受け、会議終了後、Form 4 および提案の概要を示した Outline document を作成し、TC secretariat に送付した（[資料3]）。なお、Outline document 作成に当たっては、10月17日および24日に会議（「ISO/TC215 鍼関連新規作業項目検討会」）を行った。

D. 考察と結論

D-1 本 categorial structure の意義と課題

いわゆる 12 正経と奇経のうち任脈、督脈に属する経穴の位置については WHO/WPRO によりすでに標準化が達成されているが、治療に用いる「ツボ＝腧穴」の情報が全て記述可能なわけではなく、文献上に記載が存在しない阿是穴の記述には、その検知方法も含めるべきと考えられた。本 Categorial structure により、Named point、Ashi point とともに位置情報については表現可能な枠組みが形成されたと考える。Named point については、その種別（経穴・奇穴・microsystem point）をはじめ、所属経脈・経別・絡脈の名称や経脈上での機能（Point function, Role of point）、穴性（Action of point）などが記述可能となるような枠組みが設定されたと考える。さらに典拠情報の記載の枠組みを設定したことにより、時代によって多様な意味づけをなされてきた腧穴が持つ多義性についても表現可能になったと考える。また、Named point、Ashi point の別にかかわらず主治の記述が可能となったと考える。今後の課題としては、今回作成した categorial structure において、すべての腧穴の表現が可能になったか、さらに検証していく必要がある。

D-2 国際標準としての可能性

本 categorial structure の目的とするところは、前述のように鍼灸治療で用いるすべての治療ポイント＝腧穴の表現を可能にするモデルの作成にあるが、これは換言すれば、世界で多様な歴史背景のもとで実践されている鍼灸医療について、その共通の基盤を提供する

ことでもある。その意味で、本提案が ISO において新規提案としての議論の俎上に載ったことの意味は大きいと考える。

E. 健康危険情報

なし。

F. 研究発表

1. 国際学会

なし。

2. 国内学会

1. 東郷 俊宏：伝統医学分野における用語国際標準化の現状と展望、企画セッション「用語標準化の最前線 (ISO TC215 WG3, WHO ICD11 の現状と未来)」、第 14 回医療情報学会春季学術大会、2010.5.28、高松
2. 廣瀬 康行、関 隆志、東郷 俊宏、津嘉山 洋、豊玉 速人、元雄 良治：東アジア伝統医学のモデリングに際して経験した諸課題、第 30 回医療情報学連合会、2010.11.19、浜松
3. 東郷 俊宏：腧穴（ツボ）のモデル化、「伝統医学の国際標準化の過程」（平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金〔地域医療基盤開発推進研究事業〕「ISO/TC249 に資するための伝統医学関連の用語・疾病分類・デバイス・安全性確保などの基盤整備研究」中間報告）、2011.1.23、筑波

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし。

資料目録

[資料 1] ISO/TC215 Rotterdam 会議 発表ハンドアウト

[資料 2] ISO/TC215 Rotterdam 会議 Resolution 原文 (抜粋)

[資料 3] ISO Secretariat に提出した Form 4

Categorial structure of acupuncture point in traditional medicine Part1: Traditional East Asian Medicine

Toshihiro TOGO, PhD
Japan Liaison of Oriental Medicine

Scope

- The purpose of this Technical Specification is to specify a categorial structure within the subject field of *acupuncture points* by defining a set of domain constraints for classification and terminology.
- What is acupuncture point?
 - Points on body surface where stimulation (needling, moxa cone burning) is applied

Background 1

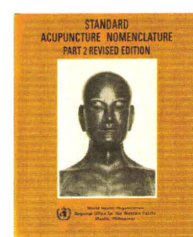
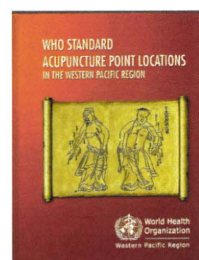
- Acupuncture therapy in the context of
 - Complementary and alternative medicine (CAM)
 - Integrative medicine
- Increasing practice and conduct of clinical trials of acupuncture therapy
 - Demand for electric exchange of detailed information of acupuncture intervention including acupuncture points.



NIH Consensus 1997

Background 2

- Existing standard developed by WHO/WPRO
 - Locations and names of 361 acupuncture points
 - twelve main meridians (正經)
 - two extra meridians (奇經)
 - Names of forty-eight extra points scalp acupuncture points were also standardized.



Challenges in information exchange of acupuncture point

- Polysemy:
 - Plural names or locations to one acupuncture points, depending on resources causing **confusion** both in **clinical practice** and **clinical trials**
- Diverse kinds of acupuncture points
 - Meridian point
 - Extra points
 - Micro system points (including those originate in Europe . e.g. Nodger's ear points)
 - Ashi point (Ouch point; Unnamed point)

- Varieties of information of acupuncture point
 - Indication, reference, function, action, etc.....
- Existence of unnamed points:
 - Points with **no definite name or location** are also used in intervention.
- **Need for framework of acupuncture points using categorial structure**

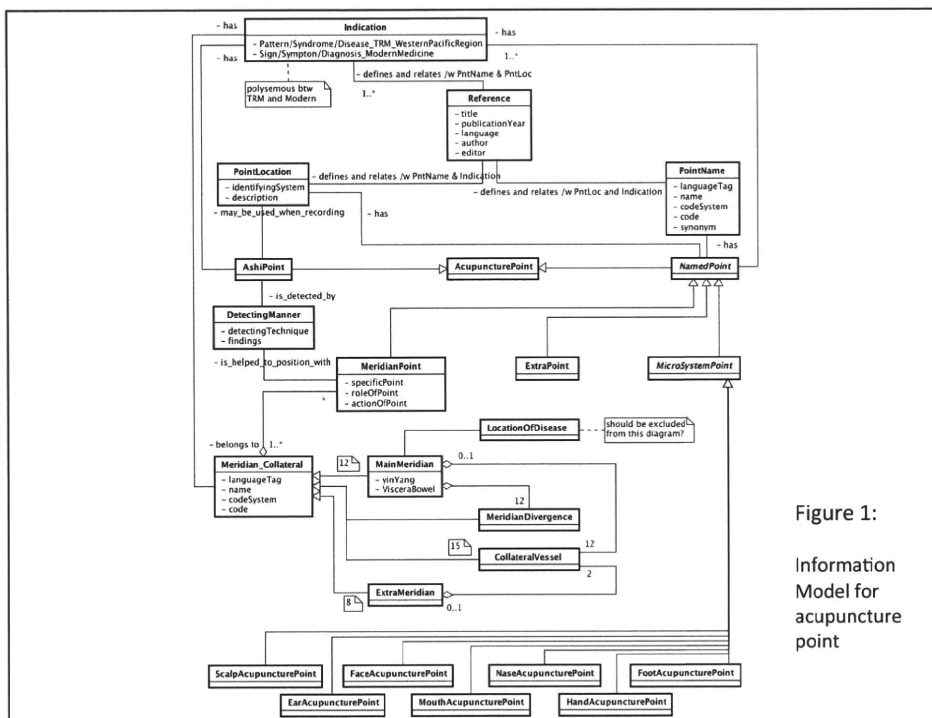
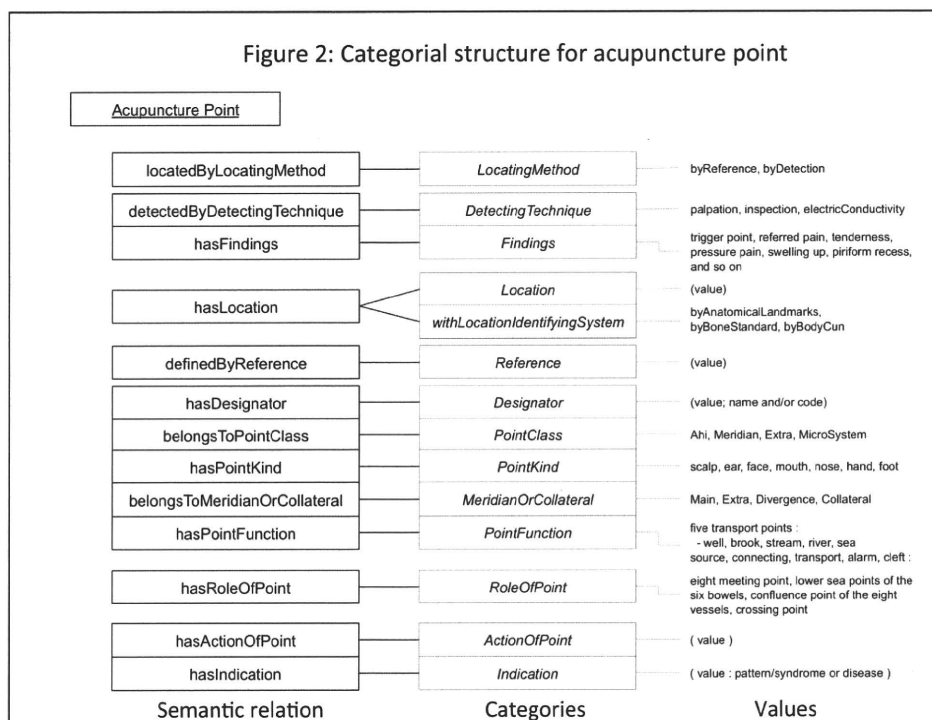
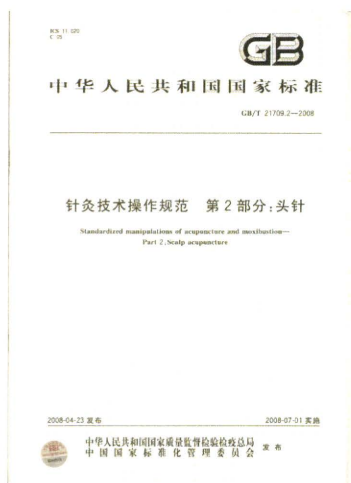
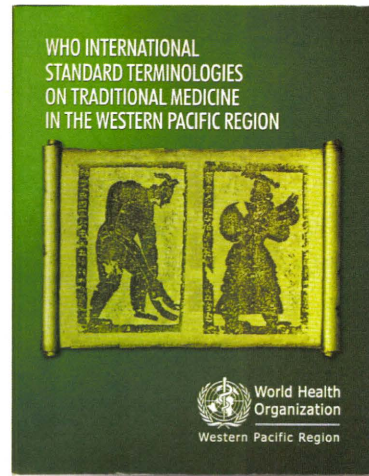


Figure 1:
Information Model for acupuncture point



- WHO International Standard Terminologies on **Traditional Medicine** in the Western Pacific Region



Goals of this proposal

- The goals of the item is to develop conceptual framework using categorial structure that can describe..
- 1) information of acupuncture points including points with no definite name or location,
- 2) complicated information that each of acupuncture point has as attributes.

- Thank you for your attention

資料 2 : Joint ISO/TC215 and CEN/TC251 Working Groups meetings 会議 最終日
(2010.10.13) の全体会議で採択された議決文 (抜粋)

Resolution 12

Resolved that ISO/TC215 approves the WG3 recommendation that the ISO/TC215 Secretariat circulates the NWIP ballot of “Health informatics – Categorial structures for the representation of acupuncture – Part 1- Acupuncture points” for approval as a new work item targeting a TS and that the Form 4 and a document arrives at TC Secretariat no later than 31 October 2010 and to be placed on the ISO/TC215 balloting portal no later than 15 November 2010.

[資料 3] ISO Secretariat に提出した Form 4



NEW WORK ITEM PROPOSAL	
Date of presentation 12, Oct 2010	Reference number (to be given by the Secretariat)
Proposer Toshihiro TOGO	ISO/TC 215 / SC WG3 N 799
Secretariat ANSI	

A proposal for a new work item within the scope of an existing committee shall be submitted to the secretariat of that committee with a copy to the Central Secretariat and, in the case of a subcommittee, a copy to the secretariat of the parent technical committee. Proposals not within the scope of an existing committee shall be submitted to the secretariat of the ISO Technical Management Board.

The proposer of a new work item may be a member body of ISO, the secretariat itself, another technical committee or subcommittee, or organization in liaison, the Technical Management Board or one of the advisory groups, or the Secretary-General.

The proposal will be circulated to the P-members of the technical committee or subcommittee for voting, and to the O-members for information.

See overleaf for guidance on when to use this form.

IMPORTANT NOTE: Proposals without adequate justification risk rejection or referral to originator.

Guidelines for proposing and justifying a new work item are given overleaf.

Proposal (to be completed by the proposer)

Title of proposal (in the case of an amendment, revision or a new part of an existing document, show the reference number and current title)	
English title	Health Informatics: Categorial structures for representation of acupuncture Part 1: Acupuncture points
French title (if available)	To be supplied
Scope of proposed project The purpose of this Technical Specification is to specify categorial structures, within the subject field of acupuncture points by defining a set of domain constraints for use within terminological resources.	
Concerns known patented items (see ISO/IEC Directives Part 1 for important guidance) <input type="checkbox"/> Yes <input checked="" type="checkbox"/> No If "Yes", provide full information as annex	
Envisaged publication type (indicate one of the following, if possible) <input type="checkbox"/> International Standard <input checked="" type="checkbox"/> Technical Specification <input type="checkbox"/> Publicly Available Specification <input type="checkbox"/> Technical Report	
Purpose and justification (attach a separate page as annex, if necessary) The purpose of this Technical Specification is to specify categorial structures, within the subject field of acupuncture by defining a set of domain constraints for representation of acupuncture points in terminological resources. This Technical Specification describes a concept system detailing a domain constraint of sanctioned characteristics each composed of a semantic link and an applicable characterizing category. The potential uses for this conceptual framework are to: 1) support developers of new terminology systems concerning acupuncture points. 2) support developers of new detailed content areas of existing terminology systems concerning acupuncture points to ensure conformance; 3) facilitate the representation of acupuncture points using a standard core model in a manner suitable for computer processing; 4) provide a conceptual framework for the generation of compositional concept representation of acupuncture points; 5) facilitate the mapping and improved semantic correspondence between different terminologies by proposing a core specification of acupuncture points; 6) provide a core model to describe the structure of acupuncture points, and facilitate improved semantic correspondence with information models. 7) provide the monitoring system for adverse events and adverse reactions. 8) provide the characterization of clinical research intervention of acupuncture. Target date for availability (date by which publication is considered to be necessary)	
Relevant documents to be considered Standards produced by TC215	

New work item proposal

Relationship of project to activities of other international bodies International Standard Terminology (WHO/WPRO) , WHO Standard Acupuncture Point Locations in the Western Pacific Region.	
Liaison organizations WHO/HQ, WHO/WPRO	Need for coordination with: <input type="checkbox"/> IEC <input type="checkbox"/> CEN <input type="checkbox"/> Other (please specify)
Preparatory work (at a minimum an outline should be included with the proposal) <input type="checkbox"/> A draft is attached <input checked="" type="checkbox"/> An outline is attached. It is possible to supply a draft by March 31, 2011 The proposer or the proposer's organization is prepared to undertake the preparatory work required <input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
Proposed Project Leader (name and address) Toshihiro TOGO Tokyo Ariake University of Medical and Health Sciences, Tokyo, Japan E-mail: velvet.go@nifty.com Tel: +81-3-6703-7018 Fax: +81-3-6703-7100	Name and signature of the Proposer (include contact information) Toshihiro TOGO Tokyo Ariake University of Medical and Health Sciences, Tokyo, Japan E-mail: velvet.go@nifty.com Tel: +81-3-6703-7018 Fax: +81-3-6703-7100
Comments of the TC or SC Secretariat Supplementary information relating to the proposal <input checked="" type="checkbox"/> This proposal relates to a new ISO document; <input type="checkbox"/> This proposal relates to the amendment/revision of an existing ISO document; <input type="checkbox"/> This proposal relates to the adoption as an active project of an item currently registered as a Preliminary Work Item; <input type="checkbox"/> This proposal relates to the re-establishment of a cancelled project as an active project. Other:	
Voting information The ballot associated with this proposal comprises a vote on: <input checked="" type="checkbox"/> Adoption of the proposal as a new project <input type="checkbox"/> Adoption of the associated draft as a committee draft (CD) (see ISO Form 5, question 3.3.1) <input type="checkbox"/> Adoption of the associated draft for submission for the enquiry vote (DIS or equivalent) (see ISO Form 5, question 3.3.2) Other:	

Annex(es) are included with this proposal (give details)

- Outline for Categorical structures for representation of Acupuncture Part 1: Acupuncture points**

Date of circulation	Closing date for voting	Signature of the TC or SC Secretary
2010-11-12	2011-02-12	Audrey Dickerson

Use this form to propose:

- a) a new ISO document (including a new part to an existing document), or the amendment/revision of an existing ISO document;
 - b) the establishment as an active project of a preliminary work item, or the re-establishment of a cancelled project;
 - c) the change in the type of an existing document, e.g. conversion of a Technical Specification into an International Standard.
- This form is not intended for use to propose an action following a systematic review - use ISO Form 21 for that purpose.
 Proposals for correction (i.e. proposals for a Technical Corrigendum) should be submitted in writing directly to the secretariat concerned.

Guidelines on the completion of a proposal for a new work item

(see also the ISO/IEC Directives Part 1)

- a) **Title:** Indicate the subject of the proposed new work item.
- b) **Scope:** Give a clear indication of the coverage of the proposed new work item. Indicate, for example, if this is a proposal for a new document, or a proposed change (amendment/revision). It is often helpful to indicate what is not covered (exclusions).
- c) **Envisaged publication type:** Details of the types of ISO deliverable available are given in the ISO/IEC Directives, Part 1 and/or the associated ISO Supplement.
- d) **Purpose and justification:** Give details based on a critical study of the following elements wherever practicable. *Wherever possible reference should be made to information contained in the related TC Business Plan.*

New work item proposal

- 1) The specific aims and reason for the standardization activity, with particular emphasis on the aspects of standardization to be covered, the problems it is expected to solve or the difficulties it is intended to overcome.
- 2) The main interests that might benefit from or be affected by the activity, such as industry, consumers, trade, governments, distributors.
- 3) Feasibility of the activity: Are there factors that could hinder the successful establishment or general application of the standard?
- 4) Timeliness of the standard to be produced: Is the technology reasonably stabilized? If not, how much time is likely to be available before advances in technology may render the proposed standard outdated? Is the proposed standard required as a basis for the future development of the technology in question?
- 5) Urgency of the activity, considering the needs of other fields or organizations. Indicate target date and, when a series of standards is proposed, suggest priorities.
- 6) The benefits to be gained by the implementation of the proposed standard; alternatively, the loss or disadvantage(s) if no standard is established within a reasonable time. Data such as product volume or value of trade should be included and quantified.
- 7) If the standardization activity is, or is likely to be, the subject of regulations or to require the harmonization of existing regulations, this should be indicated.

If a series of new work items is proposed having a common purpose and justification, a common proposal may be drafted including all elements to be clarified and enumerating the titles and scopes of each individual item.

e) Relevant documents: List any known relevant documents (such as standards and regulations), regardless of their source. When the proposer considers that an existing well-established document may be acceptable as a standard (with or without amendment), indicate this with appropriate justification and attach a copy to the proposal.

f) Cooperation and liaison: List relevant organizations or bodies with which cooperation and liaison should exist.

平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
「ISO/TC249 に資するための伝統医学関連の用語・疾病分類・
デバイス・安全性確保などの基盤整備研究」
分担研究報告書

— 伝統医学に関する対応のための組織体制の整備と情報収集 —

分担研究者 鳥居塚和生 昭和大学 薬学部 教授

要旨 平成 21 年 2 月、ISO（国際標準化機構）に中国より伝統医療にする国際標準化の委員会設立の提案が提出された。その提案書には、Traditional Chinese Medicine（TCM：伝統的中医学）として基礎、適用、管理及び関連分野の TCM の標準化が盛り込まれている。その内容は多岐にわたり「専門用語、診断法、治療法、手技、トレーニング法、学習方法、機器・機材の品質、生薬の製造方法、生薬の使用法、生薬試験方法など」であった。これに対して日本では漢方医学は医療制度に組み込まれているが、国際的会議に対応するにプラットフォームとしての日本東洋医学サミット会議を整備した。また活動支援のために、生薬やハーブの使用における、有害事象発現の事例を検討した。

A. 目的

平成 21 年 2 月、ISO（国際標準化機構）に中国より伝統医療にする国際標準化の委員会設立の提案が提出された。その提案書には、Traditional Chinese Medicine（TCM：伝統的中医学）として基礎、適用、管理及び関連分野の TCM の標準化が盛り込まれている。その内容は多岐にわたる。すなわち、「専門用語、診断法、治療法、手技、トレーニング法、学習方法、機器・機材の品質、生薬の製造方法、生薬の使用法、生薬試験方法など」と、各国の医療制度にまで踏み込むような内容であった。

この中国提案に関しては、一個人や一団体で取組める問題ではなく、少なくとも日本の医療関係者、伝統医学（漢方医学）の有識者の意見を集約して対応すべきである。2005 年

より、WHO および WHO/WPRO の国際的なプロジェクトに対応するために、日本東洋医学サミット会議（JLOM）を、4 学会、2 大学で立ち上げたが、これが ISO/TC249 への対応のプラットフォームとして機能させる必要がある。

本研究は、①日本東洋医学サミット会議（JLOM）をプラットフォームとして意見を集約するために、各国の情報や関連国際会議の情報を適切に伝達するための基盤整備を行う、②ISO/TC249 をはじめ同時に関連する、国際的プロジェクトがあるため、その会議へ臨んで日本の意見を示すことができる学術的資料をまとめ準備することにある。

（注）日本東洋医学サミット会議（JLOM）は、日本東洋医学会、全日本鍼灸学会、日本生薬学